

高校入試 **地理** よく出る！

時差・資料問題の達人

本書の特徴

1. 苦手単元をわかりやすく解説！ 自学自習も可能です

最近の社会の入試では、知識を問うことより、考えさせて答えを導き出す問題が増えています。その結果、時差、地形図、資料・グラフ問題が増加しています。

本書では、自学自習も可能なように、充実した解説ページを用意して、それらの問題に対する解法テクニックを易しく指導しています。

2. 充実した例題や類題

例題は穴うめ形式です。解き進めるうちに自然に解法が身につきます。さらに、その次にある類題をこなせば、入試問題を完答できる基礎が身につきます。

3. 精選して収録した最新入試問題

単元の後半には、最新の入試問題が揃っています。「〈高校入試〉頻出問題」，「〈高校入試〉重要問題」とレベル分けもされているので、時期や実力に応じて実戦力を養うことができます。

本書の使い方

1. 要点のなぞり書きと詳しい解説で、基本をマスター！

各単元のポイントとなる項目は、「なぞり書き」になっています。実際にそれらをなぞり書きしながら、大切な用語や知識を体得しましょう。例題では、問題に対する解法を手順を踏みながら学んでいくので、解き進めるうちに自然に解法テクニックが身につきます。

2. 類題で既習事項のおさらいを！

例題の次にある類題をこなせば、入試問題を完答できる基礎が身につきます。ここでわからなくなれば、例題や要点に戻って基礎を確認しましょう。

3. 高校入試問題で、時差・資料問題の「達人」に！

類題ができた次は最新の入試問題に挑戦しましょう。まずは「〈高校入試〉頻出問題」にチャレンジして下さい。これを解くと、入試によく出る典型的な問題をクリアーできます。

「〈高校入試〉重要問題」では、少し難しめの重要な問題を集めています。これをこなせるようになれば、高校入試のほとんどの問題が解けると言っても過言ではありません。

1 「時差の問題」に強くなろう！

1 基本の確認	2
2 12 時制と 24 時制	3
3 日時を求める	3
4 時差を求める	4
5 現地の時刻を求める	5
6 飛行時間を求める	6
〈高校入試〉頻出問題	7
〈高校入試〉重要問題	9

2 「地形図の問題」に強くなろう！

1 地形図の種類と方位・縮尺	12
2 等高線	13
3 地図記号	14
4 地形図の読み取り	16
5 地形図とスケッチの方向	17
〈高校入試〉頻出問題	18
〈高校入試〉重要問題	21

3 「資料・グラフ問題の基本」を身につけよう！

1 与えられた資料・グラフから読み取る問題	26
2 簡単な計算を含む読み取り問題	27
3 概数を使った計算	28
4 比を利用して解く資料問題	29
5 さまざまな資料を読み取る問題	30
〈高校入試〉頻出問題	32
〈高校入試〉重要問題	35

4 「資料・グラフ問題の達人」になろう！

1 世界地理の基礎知識	38
2 世界の農作物とエネルギー資源・鉱産資源	40
3 日本と各国の貿易	42
4 日本の農作物と主な産地	43
5 日本の工業とその特色	44
〈高校入試〉頻出問題	46
〈高校入試〉重要問題	50

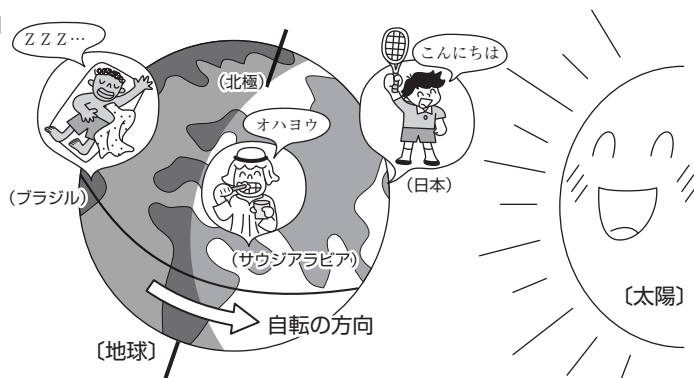
1 「時差の問題」に強くなろう！

1 基本の確認

(1) 時差

地球は図1のように **自転** しているので、
正午の時刻は世界各地で異なる。この時刻の
→ 太陽が真上にくる
ちが
違いを **時差** という。

〔図1〕



(2) 標準時 (図2)

各国がその国の基準として決めている時刻。

〔図2〕

① 日本 … **明石市** を通る

→ 兵庫県

東経 135 度 の経線が基準。

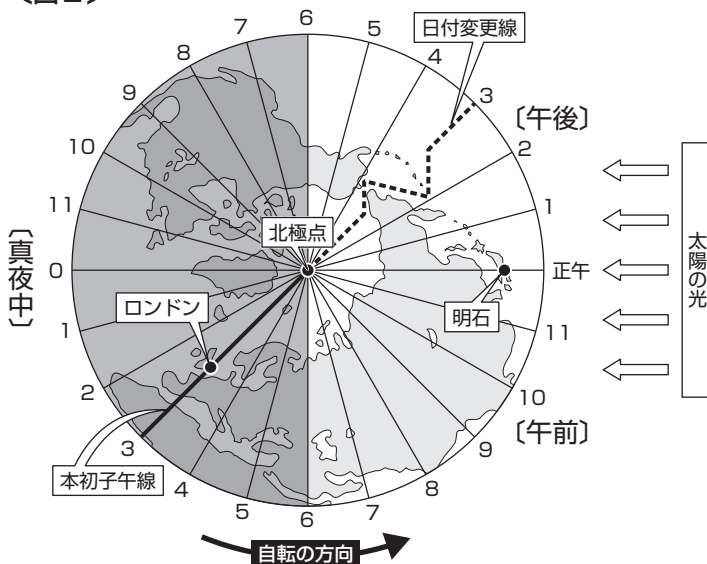
② イギリス … ロンドンを通る

ほんしよし ご せん

0 度 の経線 (**本初子午線**)

世界標準時の基準

が基準。



(3) 時差と経度の関係 (図2・3)

地球は1日 (24 時間) で1回転 (360 度) する。

よって、 $360 \div 24 = 15$ で、**経度 15 度** につき、

1 時間 の時差となる (図3)。

〔図3〕

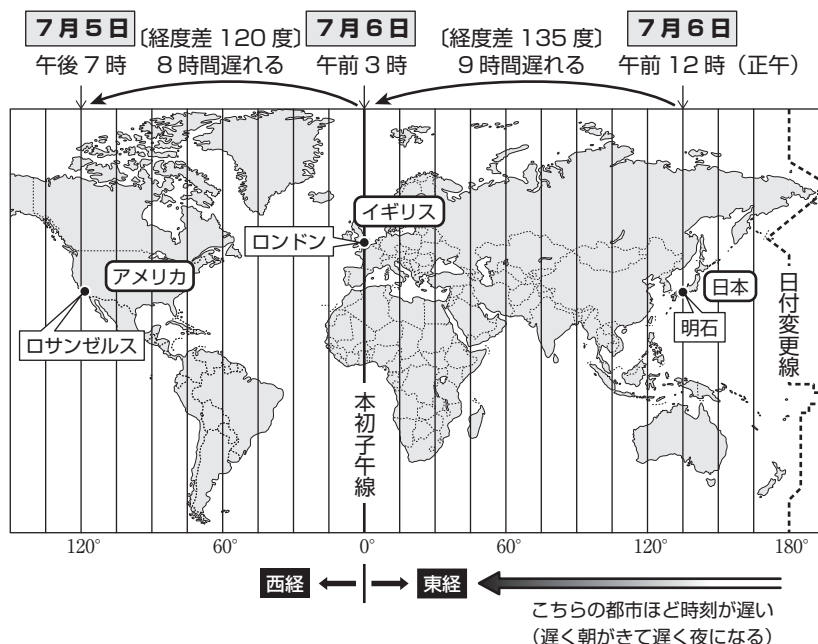
(4) 日付変更線 (図3)

ほぼ 180 度の経線にそって定められた日付の境界線。

この線を東から西へ越えるときは
日付を **1 日進め**、西から東へ越える
ときは日付を **1 日戻す**。

(5) 時刻の早さや遅さ

図3でわかるように、日付変更線から西へ行けば行くほど、その都市の時刻は **遅くなる**。



2 12 時制と 24 時制

例題 1 次の(1)は 24 時制に, (2)は 12 時制にしない。

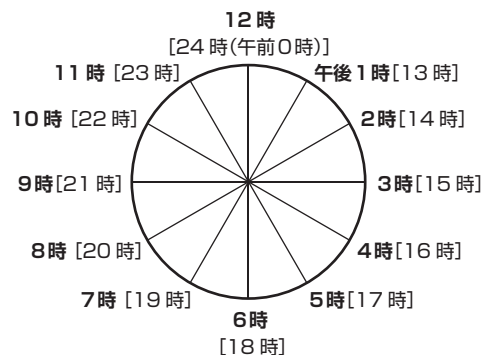
- (1) 午後 2 時 (2) 23 時

【解き方】

(1) 2 時 + 時 = 時 答え 時

(2) 23 時 - 時 = 時 答え (午前・午後) 時

午後の表し方 * 太字が 12 時制



類題 1 次の(1), (2)は 24 時制に, (3), (4)は 12 時制にしない。ただし, (3), (4)は午前・午後をつけて答えること。

- (1) 午後 3 時 (2) 午前 7 時 (3) 16 時 (4) 10 時

<答え>

- (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

3 日時を求める

例題 2 次の(1), (2)の問いに答えなさい。ただし, 午前・午後をつけて答えること。

- (1) ある地点が 7 月 31 日午後 8 時のとき, それより時刻が 7 時間早い地点では, 何月何日何時になるか。
(2) ある地点が 1 月 1 日午前 7 時のとき, それより時刻が 13 時間遅い地点では, 何月何日何時になるか。

【解き方】

- (1) 「早い」ということは, 時刻を ① (進める・戻す) ということである。

午後 8 時は 24 時制で 時。

よって, 時 ④ (+・-) 7 時 = 時。24 時を越えるの

で日付を 1 日進める。また, 時刻は, 時 - 24 時 = 時
となる。

答え 月 日 (午前・午後) 時

<筆算での解き方>

7 月 31 日 午後 8 時
↓ ※24 時制にする
7 月 31 日 20 時
+ 7 時
7 月 31 日 27 時
↓ ※日付を 1 日進めて
12 時制に戻す
8 月 1 日 午前 3 時

- (2) 「遅い」ということは, 時刻を ② (進める・戻す) ということである。

よって, 時刻を 13 時間 ③ (引く・足す) ことになる。午前 0 時を越えるの
で日付も 1 日戻す。また時刻は, 「1 月 1 日午前 7 時」を「12 月 31 日 (7 +
24) 時」と考えて, 時 - 13 時 = 時となる。

答え 月 日 (午前・午後) 時

<筆算での解き方>

1 月 1 日 7 時
- 13 時
↓ ※引けないので直す
12 月 31 日 (7 + 24) 時
- 13 時
12 月 31 日 18 時
↓ ※12 時制に戻す
12 月 31 日 午後 6 時

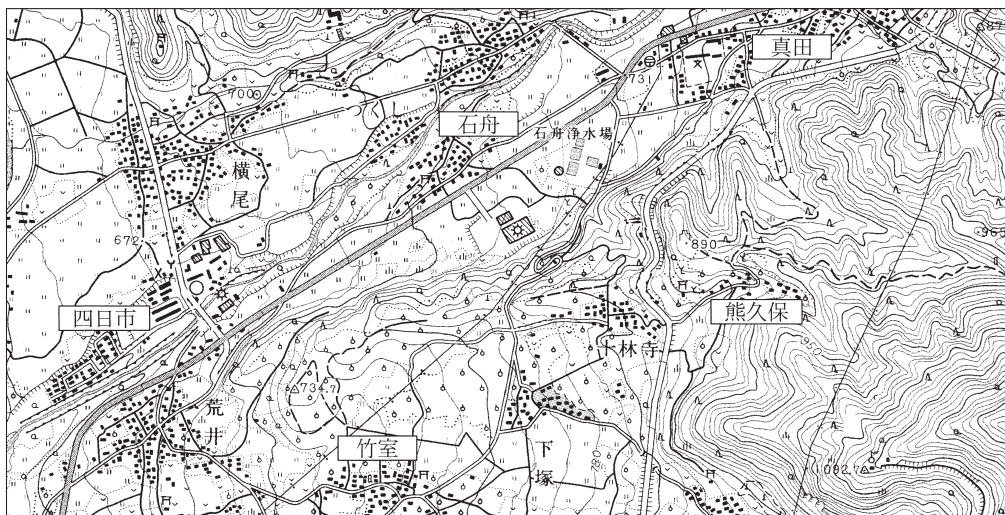
例題 1 (1) ① 12 ② 14 ③ 14 (2) ① 12 ② 11 ③ 午後 ④ 11

例題 2 (1) ① 進める ② 20 ③ 20 ④ + ⑤ 27 ⑥ 27 ⑦ 3 ⑧ 8 月 1 日午前 3 時 (2) ① 戻す ② 引く ③ 31 ④ 18 ⑤ 12 月 31 日午後 6 時

4 地形図の読み取り

例題 5

次の地形図を見て、あとの(1)～(4)の文章中にあてはまる適切な語句や数字・記号を書くか、または選べなさい。



(国土地理院発行 2万5千分の1 地形図「真田」から作成)

(注) 地形図は拡大してある。

- (1) 「竹室」にある神社は地図記号の ① で示されている。また、この地形図には ② がないため、地形図の上が ③ だとわかる。よって「竹室」の北西は④(右上・右下・左上・左下)の方角となる。そこには、役場の地図記号である ⑤ をみつけることができる。
- (2) 「石舟」にある浄水場の標高は、その北東に示されている数値から、約 ① mである。また、「四日市」にある消防署(地図記号 ②)の標高は約 ③ mである。
- (3) 「真田」には郵便局があり、地図記号の ① で示されている。また、近くには文の記号があり、それは ② を表す。
- (4) 「熊久保」にある神社の北の ① の記号は城跡である。すぐそばに数値があり、その標高は ② mとわかる。

【解き方】 方位、地図記号、等高線を確認しよう。

類題 5

例題5にある地形図から読み取れることとして適当でないものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

[山形改]

- ア 「竹室」にある神社から見て、役場は北西の方向にあたる。
 イ 「石舟」にある浄水場は、「四日市」にある消防署よりも標高が高い。
 ウ 「真田」にある郵便局付近には、図書館がある。
 エ 「熊久保」付近にある城跡の標高は、ほぼ 890 m である。

<答え>

例題5 (1) ① ㊦ ② 方位記号 ③ 北 ④ 左上 ⑤ 〇 (2) ① 730(731) ② ヲ ③ 670(672)
 (3) ① ㊤ ② 小学校(中学校) (4) ① ㊦ ② 890

5 地形図とスケッチの方向

例題 6

次の地形図と図を見て、あとの文章の①～③に適切な記号を書くか、または語句を選びなさい。なお、図は、地形図中のA～Dのいずれかの地点から矢印の方向を向いてかいたものである。

〔地形図〕



(2万5千分の1地形図「新宮」「鵜殿」(2011年)より作成)

図を見ると、前方に住宅があり、さらに川の手前に小さな①(山・工場)があることがわかる。また、川の向こう側に②(灯台・工場)があることがわかる。

地形図で工場の地図記号である③を探すと、川沿いの北側に見つかる。これらのことから、図をかいた場所を推測することができる。

〔図〕



【解き方】 図から特徴のある建物や地形の位置を確認しよう。

類題 6

例題6の地形図と図を見て、図はどの地点からかいたものか、A～Dより一つ選び、記号で答えなさい。

[兵庫改]

<答え>

③

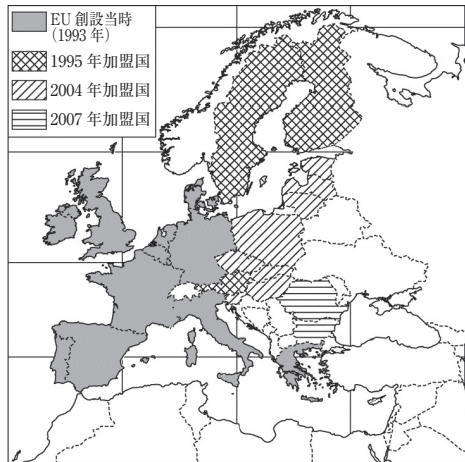
「資料・グラフ問題の基本」を身につけよう！

1 ^{あた}与えられた資料・グラフから読み取る問題

例題 1

図1はEU加盟国の拡大の様子、図2はEU加盟国の一人あたり国民総所得を示している。
図1・2を見て、あとの(1)～(5)の文章中に適当な数字を入れるか、または語句を選びなさい。

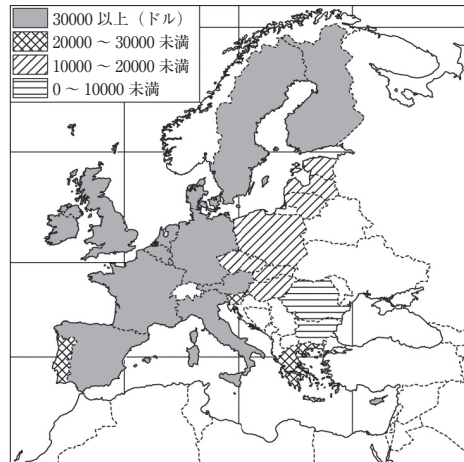
〔図1〕 EU加盟国の拡大の様子



(2011 年)

(「世界国勢図会」より作成)

〔図2〕 EU加盟国の一人あたり国民総所得



(2011 年)

(「世界国勢図会」より作成)

【資料・グラフからわかること】

- (1) EU創設当時の加盟国を図2で見ると、ほとんどの加盟国の一人あたり国民総所得は ①
ドル以上である。しかし、 ② か国だけは、20000～30000ドル未満である。
- (2) 1995年の加盟国を図2で見ると、3か国とも一人あたり国民総所得は ドル以上である。
- (3) 2004年の加盟国を図2で見ると、すべての加盟国が ～ ドル未満である。
- (4) 2007年の加盟国を図2で見ると、すべての加盟国が ～ ドル未満である。
- (5) (1)～(4)より、加盟国が増えるにつれ、一人あたり国民総所得の①(高い・低い)加盟国が増え、加盟国間の経済格差が②(広がって・縮まって)いるとわかる。

類題 1

例題1の図1・2から読み取れることとして、次の(1)～(4)の内容が正しければ○、誤っていれば×を、それぞれ書きなさい。

[兵庫改]

- (1) EU創設当時の加盟国は、すべて一人あたり国民総所得が30000ドル以上で経済的に豊かである。
- (2) 1995年の加盟国は、EU創設当時の加盟国と比べて一人あたり国民総所得が低い。
- (3) 東ヨーロッパの2004年の加盟国は、それ以前の加盟国と比べて経済的に豊かである。
- (4) 2007年の加盟国は、EU創設当時の加盟国と比べて一人あたり国民総所得が低く、加盟国間の経済格差が広がった。

<答え> (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

例題1 (1) ① 30000 ② 2 (2) 30000 (3) 10000～20000 (4) 0～10000 (5) ① 低い ② 広がって

2 簡単な計算を含む読み取り問題

例題 2

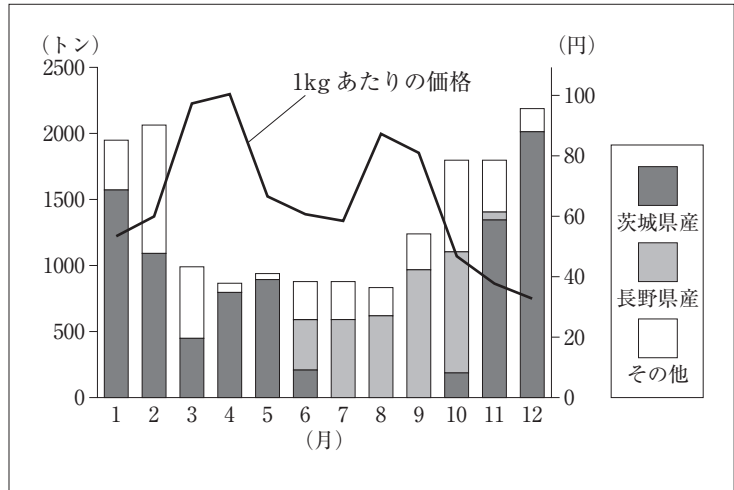
次の表と図は、はくさいの産地や価格などについてのものである。これらを見て、あとの(1)～(5)の文章中に適切な語句や数字を入れるか、または選びなさい。

【表】 はくさいの産地と生産量

全国順位	産地	生産量 (トン)
1	茨城県	231100
2	長野県	212800
(全国計)		924100

(2009 年) (「日本国勢図会 2011/12」より作成)

【図】 P 市場へのはくさいの入荷量と価格



(「2009 年東京都中央卸売市場資料」より作成)

【資料・グラフからわかること】

- 茨城県と長野県のはくさいの生産量を合計すると、 トンになる。
- 茨城県と長野県の実産量の合計は、全国の実産量合計の 50% (以上・以下) である。
- はくさいの価格は、 ① 月が最も高く、 ② 月が最も安い。
- 2 月の P 市場への入荷量は ① トン以上あり、価格は約 ② (60・90) 円である。
- P 市場への入荷は、長野県産は ① (夏・冬) が多く、茨城県産は ② (夏・冬) が多い。

類題 2

例題 2 の表と図から読み取れることとして、次の(1)～(4)の内容が正しければ○、誤っていれば×を、それぞれ書きなさい。

[茨城改]

- 茨城県と長野県の実産量を合計すると、全国の実産量の半分以上を占める。
- はくさいの価格は、4 月が最も高く、7 月が最も安い。
- P 市場への入荷量が 1500 トンを超える月はいずれも、価格が 70 円以下である。
- 茨城県産より長野県産の入荷量の方が多いのは、冬の季節である。

<答え> (1) (2) (3) (4)

